

伊豆大地震

續 報

— 全滅に近かつた

箱 根 國 道 —





箱根町の大被害

昨年秋の北伊豆大地震のため箱根町は殆んど全滅の被害をうけた。當時箱根方面の状況は餘り詳報されなかつたので、爰に二三の寫眞を録することにした。

地震當時所謂丹那斷層が南北に續き、北端は箱根國道の國境附近を越え、箱根離宮の丘が七分三分に一丈程下り、割目が出來た。附近箱根町は殆んど全滅して、全壞戸數46戸、半壞戸數38戸、破損13戸と云ふ有様であつた。箱根町から國境までの12丁程の國道は全滅した。大正十二年の關東大地震後大改修工事をしたものが再び大破されたのである。此の12丁程の道路復舊概算14萬餘圓位を要する。

寫眞説明

(40頁上) 神奈川縣箱根一號國道湯本畑宿上の大落石、殆んど道路とは見えない位に破壊された一部景。

(40頁下 神奈川縣箱根舊街道、湯本元箱根間 あまざけ茶屋下の大落石。自動車交通標識の上の電柱は落石のため根元から切斷され、電線に垂れ下つてゐる状況である。

(41頁) 寫眞は 神奈川縣箱根舊街道の地震被害の珍狀景。甘酒茶屋内に闖入せる大落石、大落石の座り込む前まで當家の老婦人が臥床せし蒲團である。老人は大地震直前の地鳴に驚きて床中より飛び出し、奇蹟的に死を免れた。